

式 辞

春風香る今日の良き日、保護者の皆様の御臨席のもと、第73回延岡中学校卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもとより、在校生・教職員一同の大きな喜びであり、心より御礼を申しあげます。また、本日式の挙行に際し、御理解と御協力を賜りました全ての関係者の皆様に感謝を申しあげます。

ただいま卒業証書を授与されました112名の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。延岡中学校での3年間を終えて、今、皆さんの胸に去来するものはなんでしょうか。

私には、学校行事や生徒会活動、部活動にいつも全力で挑む皆さんの姿がひとときわ印象に残っています。五月の体育大会では、短い準備期間でしたが、3年生が一致団結し、大いに盛り上げてくれました。十月に行われた合唱コンクールでも、3年生の合唱はどのクラスも大変素晴らしいものでした。本校の代表として小中学校音楽祭に出場した3年2組の皆さんも、とても心に残る歌声を披露してくれました。そして、延岡大空襲慰霊祭やスーパークリーンウオークデイ等で、本校生徒の自立した姿を体現してくれた山本さんを中心とする3年生の旧生徒会役員の皆さんにも、お礼をいわなければなりません。本当にありがとうございました。

さて、皆さんがこれから活躍する社会は、平均寿命がどんどん延び、グローバル化、多様化、複雑化が進み、その一方で ICT 機器が人や物をつなぎ、ロボットや AI が多くの仕事を代替する超スマート社会（Society5.0）が到来しようとしています。そのため、これまでのように学校で学び、1つの企業や組織で定年まで勤め上げるという生き方だけでは、幸せをつかむことが難しくなっています。これからの社会では、皆さん一人一人が、世の中の変化に関わりを持ち、主体的に問題解決に取り組み、学び続けていくことが重要になってくると思います。

本校ではこの3年間、その基盤作りに努めてきました。卒業後は、これまで培ってきた力をそれぞれの進む道で、さらに伸ばしてほしいと願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。この三年間、延岡中の教職員一丸となって、卒業生の成長を見守りつつ、精一杯努力したつもりではありますが、いたらない点も多々あったかと思えます。にもかかわらず、本校に、私たち職員にお寄せくださいました信頼とご協力に心より感謝を申し上げます。

卒業生の皆さん、いよいよ羽ばたく時が来ました。映画「君の名は」や「天気の子」の監督をした新海誠さんが、年頭のインタビューで最近の社会を次のように述べています。「社会全体が攻撃的なトーンを帯びてきている。異質な他者への不寛容な空気を感じる。誰かを責めるような雰囲気がある」と。今、世の中は、誰かが失敗やミスをすると再び立ち上がれないほど情け容赦ない言葉をぶつける社会になってしまいました。人は完璧な存在ではありません。人生は調子の良いときばかりではありません。こんな時代だからこそ、失敗やミスをした人、弱い立場の人々の心の痛みを想像できる心豊かな人であってほしいと思います。皆さんはそのことを本校で学んできました。

皆さんなら、きっと心豊かな大人になれると私は信じています。

皆さんのこれからの人生が、輝かしく実り多いものになることを心から祈念し、式辞といたします。

令和2年3月16日
延岡市立延岡中学校
校長 土井 智喜